

# 学校図書館だより

令和8年1月 座間市立東原小学校図書館



## 2026年 今年もよろしく おねがいします

新しい年がスタートしました。

今年はうまどです。なにごともウマくいく一年になりますように。

東原小学校図書館では、新年企画として読書おみくじや、おまもりしおりプレゼントを実施しました。1月19日(月)からは、「いざ勝負！図書委員とジャンケン！」というイベントがはじまります。本を借りて、図書委員とのジャンケンに勝ったら景品をもらえます。さあ、学校図書館へレッツゴー!!

 <h3>今月はうまが出てくる本を紹介します</h3> 	
<p>『新訳 ナルニア国物語(5) しゃべる馬と逃げた少年』 C・Sルイス 作 河合 祥一郎 訳 Nardack 絵</p> <p>父になぐられ育ったシャスターは、父が実の親でないと知り、ナルニアへと逃げ出す。旅の途中、自分そっくりの王子と出会い、入れ替わることになり…。(TRCMARKより抜粋)</p> <p>KADOKAWA</p>	<p>『馬のトレーナーのひみつ』 まんが 田村 正一 構成 SHIGS</p> <p>4000年以上にわたり、人を乗せて走ることで、人の役に立ってきた馬。その馬を育てる人たちはどんな人たちなんだろう？速く走らせるためにどんな調教をしているのだろう？ (TRCMARKより抜粋)</p> <p>Gakken</p>
<p>『エカシの森と子馬のポンコ』 加藤 多一 作 大野 八生 絵</p> <p>子っこ馬のポンコは、すきなところへ、すきなように歩いていく。でもある日、川の水の声も、風の声もいつもどちらがって…。(TRCMARKより抜粋)</p> <p>ポプラ社</p>	<p>『シェーラひめのぼうけん ガラスの子馬』 村山 早紀 作 佐竹 美保 画</p> <p>悪い魔法使い・サウードがかけた呪いを解くために、7つの宝石を探して旅するシェーラ姫。そんなシェーラ姫に邪悪な黒竜が迫り…。(TRCMARKより)</p> <p>童心社</p>
<p>『白い馬』 東山 魁夷 絵 松本 猛 文、構成</p> <p>湖のほとりで不思議な白い馬に出会った少年は、馬の背中に乗って空高く舞い上がった。馬は、少年をオーストリアへと連れて行き…。(TRCMARKより抜粋)</p> <p>講談社</p>	<p>『スーウの白い馬』 大塚 勇三 再話 赤羽 末吉 画</p> <p>貧しいけれど働き者の羊かいの少年スーウ。草原で拾った白い子馬を一生懸命に育てるのだが…。少年と馬との悲しくも美しい民話。 (TRCMARKより抜粋)</p> <p>福音館書店</p>

# よんでもみよう！おしょうがつにちなんだ本

## 『おせち』

うちだ ゆみ 内田 有美 文、絵  
みつどめ くにこ 満留 邦子 料理  
みうら やすこ 三浦 康子 監修



福音館書店

おせちりょうりってしってる？あたらしいとしをいわう、うれしいりょうり。くろまめ、ぴかぴか、あまいまめ。まめまめしくらせますように。こぶまきのこぶは、よろこぶのこぶ。まあいせなかのえびさんは、としをとるまでげんきでいられますように…。

おせちりょうりと、そこにこめられたねがいをしょうかいします。(TRCMARKより抜粋)

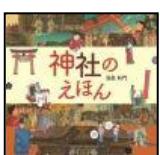
## 『しめかざり』

もり すまこ 森 須磨子 文、絵



福音館書店

お正月、新しい年を元気にすごすための力をさずけてくれる「年神様」をおむかえするために、家の門や玄関にしめかざりをかざります。しめかざりがどうやって作られているのか、どんな種類があるのかを紹介します。(TRCMARKより抜粋)



あすなろ書房

## 『神社のえほん』

はじり としかど 羽尻 利門 作

神社って、何のためにあるの？手水を取るって？拝礼の作法は？どうして神輿をかつぐの？巫女は何をする人？神社にあるものは一つ一つ意味がある。昔から伝わる日本の文化を楽しく学ぶ絵本。(TRCMARKより抜粋)

## 『はつてんじん』

かわばた まこと 川端 誠 作

とうちゃん、ぼくもつれてって…。お父さんは金坊を連れて初天神へ行くはめになってしまいました。更に、何もねだらない約束だったのに、大きな廐を買うはめに。でも、廐あげに夢中になったのはお父さんでした。落語の絵本化。(TRCMARKより抜粋)



クレヨンハウス